

実践記録

学校/学年	小学校 / 1 年	
教科等：単元名	道徳：「かべにわるぐちをかくとどうなるの？」	
キーワード	落書き 情報の広がり	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	■ 情報社会の倫理 □ 法の理解と遵守 □ 安全への知恵 □ 情報セキュリティ □ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	a 1：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ e 2：情報を正しく安全に利用することに努める
	中目標項目番号 中目標項目内容	a1-1:約束や決まりを守る e2-1:情報には誤ったものもあることに気づく
授業会場	□ パソコン教室 ■ 普通教室 □ 特別教室〔 〕 □ その他〔 〕	
学習の目標	悪口を書かれた人や見た人がどんな気持ちになるか考えることができ、うその情報が広まるとみんなが迷惑することがわかる。	
使用教材	教材名	さるおくと学ぼう
	製作者	個人サイト
	入手先(URL 等)	http://www2.odn.ne.jp/yuki-yuki/menu.html

○ 展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	1 落書きの経験を発表する。 2 家の外で落書きをした話であることを知らせ、映像を見る。	・自分の行動について振り返らせる。 ・書いたところにより、人の目に触れてしまうことがあることに気づかせる。
展 開	3 落書きを見たらどう思うか問い、落書きを見た人々の気持ちを考える。 4 さるお君は、誰に謝ろうとしたのか考える。	・見た人、くまお君の気持ちをしっかり考えさせる。 ・くまお君だけでなく、見た聞いた人全員に謝る必要があることを考えさせる。
お わ り	5 なぜこんなにたくさんの人に謝らなければならないのか考える。	落書きの影響を考えられたか。 ・落書きが多くの人に伝わってってしまう仕組みを理解させる。

○ 授業の成果

- ・ 画像をプリントしておき、再現しながら場面を考えていくことで、登場人物の心情に迫ることができた。
- ・ くまおくんだけでなく、関わった人全員に謝る必要性に気付くことができた。

○ 指導のポイント・留意点

- ・ 日常生活のモラルについて、低学年では丁寧に指導を行う必要がある。